

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」



西合志第一小学校
学校だより 第43号
文責 校長 西村羊治
令和6年10月17日

令和6年度 後期スタート！



私が自慢できる、令和6年度後期もがんばる子ども達と職員

先日前期が終了しましたが、今日から後期のスタートです。前期の経験を生かし、6年生は中学校に向けて、5～1年生は一つ上の学年に向けて日々をボーッと過ごすのではなく、1日1日を楽しみながら仲良くいろいろな学びをして欲しいと思います。前期は計画と実践の時期、後期は実践とまとめの時期です。そのことを自覚し昨日の自分より今日の自分、今日の自分より明日の自分の「成長」を感じながら過ごしてください。「ボーッと生きてたらチョコちゃんに叱られますよ！」そのためには、いろいろなことに尻込みせず、積極的に取り組むことです。失敗していいんです。できなくてもいいんです。まずは挑戦することです。失敗や成功などいろいろな経験を積むことで知的好奇心が揺すぶられ、自らの学びにつながっていくと思います。言われてする勉強、させられてする勉強ではなく、自分自身が「なぜ」「どうしてだろう」「知りたい」と思って、自ら積極的な学びをして欲しいと思います。もちろんそのように支援する授業づくりには、各先生方の力量が問われますが、本校の職員はその努力をしてくれると思います。子ども達も先生方を信じ、周りのお友達と仲良く学びを進めていってくれることを願います。

後期は、150周年記念式典および学習発表会、移動教室（終わった学年もあります）修学旅行、西合志中校区クリーン作戦、県学力調査、愛校作業、なわとび大会、お別れ遠足、卒業式、退任式など大切な行事等がたくさんあります。日々の授業や学校生活はもちろんですが、是非それぞれの経験を通して「成長」して欲しいと思います。後期の授業日数は約98日です。この大切な時間を89名のみんなが、有意義に過ごしてくれることを期待しております。あなた達ならできます！

楽しいバスケット学ば

本校卒業生の坂本一真先生（現在は教職から退き、実家の事業を継がれています）が、5・6年生にサイドマンバスケットを教えてくださいました。ボール運動が苦手な子も動いてボールにさわって、全員が楽しめるスポーツです。1単元9時間ぐらいの予定です。普通にバスケットボールのルール

でゲームをすると、やはり上手な人だけがボールをたくさんさわって、シュートもたくさんします。苦手な子はあまりさわれず、益々苦手になります。成就感もありません。しかし、坂本先生が教諭時代に開発されたこのサイドマンバスケットだと、全員がボールをさわって、シュートも打ちます。後日5・6年生に「どうだった？」と聞くと「楽しかった！」と即答。楽しく学習できることは、子どもの学びにとってとても大切なことです。坂本先生、ありがとうございます。



サイドマンバスケットを楽しむ子どもと坂本先生